

## JENESYS2022 日韓次世代会議 オンライン及びオフライン交流の記録

### 1. 事業概要

【目的】本事業では、JENESYS 事業参加経験を有する日韓両国の大学生・社会人等がプログラム参加経験を生かし、大テーマ「ライフステージ」の下、小テーマ「教育」「労働」「老後・福祉」の3グループに分かれ、9月から11月にかけて月に1回オンライン上での活動を行い、12月にオンライン及びオフラインのハイブリッド式で開催された本会議で小テーマごとに提言を発表しました。

両国の社会問題に関する意見交換や共同調査を通じ、今後の日韓間における相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的に実施したものです。

【参加者】日韓両国の大学生・社会人等（日本側13名、韓国側9名）

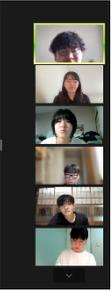
※本会議では JENESYS 事業参加経験を有する大学生・社会人等の傍聴者（日本側4名、韓国側11名）が同席しました。

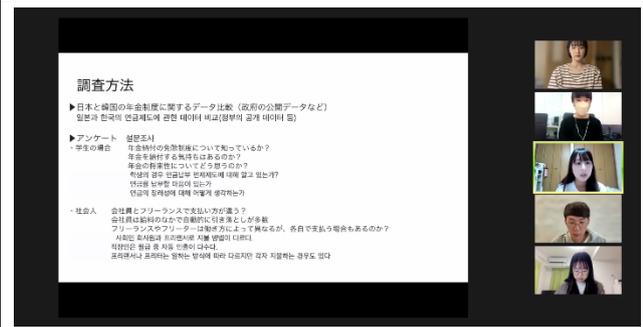
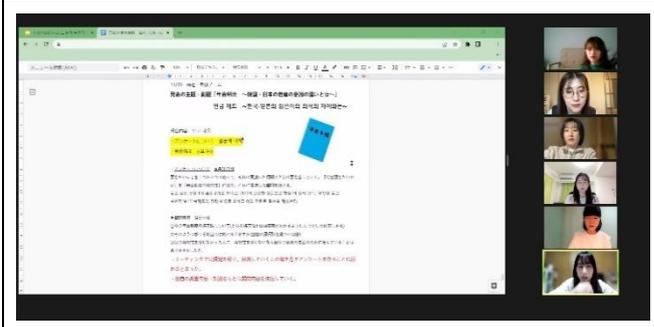
### 【日程】

日にち 訪問地	内容	参加者の質問・反応（参加者の人数 実績）
1回目 9月17日	概要説明 【テーマ関連交流】 ① 自己紹介 ② 小テーマに沿った詳細テーマの選定及び討論	テーマ関連交流では大学院生や社会人が中心となり、自身の経験や知識を生かした活発な意見交換の様子が見られました。両国の参加者からは、「今後3か月間、グループメンバー間で議論を交わすことが楽しみ」、「議論を通じて両国の諸問題をより深く理解したい」という積極的な意見が上がりました。（参加者：17名）
2回目 10月15日	【テーマ関連交流】 詳細テーマに沿った討論及び提言発表準備	テーマ関連交流では、前月に策定した詳細テーマ、調査方法や発表方法等について、日韓両言語を駆使しながら熱心に議論を重ねることで、両国の現状や今後の展望等について認識を共にしました。（参加者：22名）

<p>3回目 11月19日</p>	<p>【テーマ関連講義・質疑応答】 「ジェンダーの視点から見た韓国の労働改革—超短時間パートの増大と『細切れ労働』という働き方の増大を中心に—」 講師：横田伸子氏（関西学院大学社会学部教授） ① 聴講 ② 質疑応答 【テーマ関連交流】 提言発表準備</p>	<p>テーマ関連講義では、日本の最低賃金引き上げ、韓国における非正規職の女性や若者による労働運動等につき質問がありました。 テーマ関連交流では、詳細テーマごとの進捗状況を共有し相互にフィードバックを行うことで、両国に共通する課題について多角的な視点から解決方法を模索するために、両国の次世代を担う若者同士が相互理解を深めていくことの重要性を再認識しました。 (参加者：15名)</p>
<p>4回目 12月17日</p>	<p>【テーマ関連発表報告】 グループ別提言発表及び意見交換</p>	<p>総括として、本事業の大テーマ「ライフステージ」に沿って各グループが設定した詳細テーマについて、参加者同士が意見交換したり、調査したりする中で導き出した結論や成果等を発表し、両国の友好協力関係の重要性を再確認しました。(参加者：20名、傍聴者：15名)</p>

## 2. 記録写真

 <p>日韓次世代会議の概要説明/한일차세대회의 개요설명</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日韓の若い世代が日韓共通の課題について話し合うプログラム 한일 젊은이들이한일이 안고 있는 공통 과제에 대해토론하는 프로그램</li> <li>・JENESYS参加の経験を活かし、今後も日韓について考え続けるための企画 JENESYS 참가 경험을살려 앞으로도 한일에 대해 계속 생각할 수 있도록 기획</li> <li>・3ヵ月で日韓が共同で取り組める解決策を探り、相互理解を図る 3개월로 한일 서로가 임할 수 있는 해결책을 찾고 양국의 이해를 깊게 한다</li> </ul> <p>是次報告生にて成甲致事上全体での意見交換</p>	<p>노동/ 労働</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 具体的なテーマの選定</td> <td>1. 세부주제 선정</td> </tr> <tr> <td>2. 役割分担</td> <td>2. 역할분담</td> </tr> <tr> <td>3. 活動計画</td> <td>3. 활동 계획</td> </tr> </table> 	1. 具体的なテーマの選定	1. 세부주제 선정	2. 役割分担	2. 역할분담	3. 活動計画	3. 활동 계획
1. 具体的なテーマの選定	1. 세부주제 선정						
2. 役割分担	2. 역할분담						
3. 活動計画	3. 활동 계획						
<p>2022年9月17日概要説明</p>	<p>2022年9月17日【テーマ関連交流】小テーマに沿った詳細テーマの選定及び討論</p>						

	
<p>2022年10月15日【テーマ関連交流】詳細テーマに沿った討論及び提言発表準備</p>	<p>2022年11月19日【テーマ関連交流】提言発表準備</p>

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 韓国 大学生

日韓次世代会議の参加者として、日本側参加者と有益な議論を交わすことができよかったです。普段は韓国の社会問題についてのみ考えていましたが、日本の世相についても詳しく知ることができました。

#### ◆ 韓国 大学生

JENESYS 事業が継続されることで、日韓交流が続いていく喜びを感じることができました。発表内容や調査資料も大変参考になりました。

#### ◆ 韓国 大学生

以前から両国の社会問題について自由に意見交換できる場が必要だと考えていましたが、今回そのような機会を持つことができよかったです。

#### ◆ 日本 大学生

各ライフステージに焦点を当てた内容だったため、友人や家族とはあまり話したことがない年金について、参加者間で理解を深めながら真剣に議論を進めることができました。今まで社会について話し合う機会はあまりありませんでしたが、本事業に参加したことで、やはり今後も関心を持ち続け、自分の考えを相手に伝えてみようという気持ちがより一層強くなりました。また、会議を通して、日韓両国の参加者と深い友情を築くことができ、出会えたこと、そして一緒に議論できたことに対し本当に喜びを感じています。今後も彼女たちと連絡を取り続け、社会の様々なテーマについて話し合ったり、両国の文化や食べ物についても共有したりし続けたいと思いました。会議に参加して本当に良い経験を積むことができたと思います。

#### ◆ 日本 社会人

久しぶりに訪韓団の関連事業に携わることができてうれしかったです。優秀な学生の皆さんと共に活動することができ、私自身も非常に刺激を受けました。今後もこのような機会が継続されることを願っています。

#### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

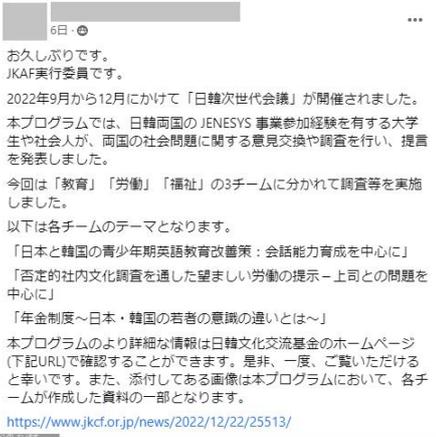
##### ◆ 日本側運営団体（JENESYS 同窓組織 Japan Korea Alumni Forum）

本事業の運営に参加させていただき、ありがとうございました。日韓文化交流基金やKJAFをはじめ、サポートしていただいた皆様に感謝申し上げます。今回の企画では様々な面において両国の共通点が予想以上に多いと感じ、韓国新たな一面を知ることができました。それゆえ、今回のような日本人と韓国人が協働するイベントを多く行うことが、両国間の相互理解をより一層促進していく手掛かりになると思います。私たちは今後も日韓交流促進の一助になれるよう、日韓文化交流基金やKorea Japan Alumni Forum等と連携しながら活動していきます。

##### ◆ 韓国側運営団体（JENESYS 同窓組織 Korea Japan Alumni Forum）

本事業の運営を通じて、コロナ禍でも今回のような濃密な交流を推進することができ、有意義な時間を過ごすことができました。新型コロナウイルスの感染拡大により、すべての過程がオンラインで進行されたため、時折コミュニケーションの難しさを感じた参加者もいたようですが、本事業を通じて新たな関係が生まれ、今後も交流が続いていくことを期待しています。次回開催時には自国の参加者と事前に対面で交流する機会を設け親睦を深めるとともに、本事業への期待度と参加度を高めることができればと思います。また、事業終了後も交流が続いていくように事後集会を企画することも有益であると検討を進めています。

#### 5. 参加者の対外発信、報道記事等

 <p>[JENESYS 2022 한일차세대회의] 안녕하세요. 오랜만에 찾아요 KJAF입니다! :) 2022년 하반기에 진행된 '한일차세대회의'를 소개합니다. 함께해주신 KJAF, JKAF 멤버들과 참여자분들, 많은 도움을 주신 공보문화원, 일한문화교류기금 관계자분들께 감사드립니다! :)</p>	 <p>お久しぶりです。JKAF実行委員です。2022年9月から12月にかけて「日韓次世代会議」が開催されました。本プログラムでは、日韓両国のJENESYS事業参加経験を有する大学生や社会人が、両国の社会問題に関する意見交換や調査を行い、提言を發表しました。今回は「教育」「労働」「福祉」の3チームに分かれて調査等を実施しました。以下は各チームのテーマとなります。「日本と韓国の青少年期英語教育改善策：会話能力育成を中心に」「否定的社内文化調査を通した望ましい労働の提示－上司との問題をを中心に」「年金制度～日本・韓国の若者の意識の違いとは～」本プログラムのより詳細な情報は日韓文化交流基金のホームページ(下記URL)で確認することができます。是非、一度、ご覧いただけるとうれいです。また、添付してある画像は本プログラムにおいて、各チームが作成した資料の一部となります。<a href="https://www.jkcf.or.jp/news/2022/12/22/25513/">https://www.jkcf.or.jp/news/2022/12/22/25513/</a></p> <p>解決のための提言/문제해결을 위한 제언</p>
<p>2023年1月4日 (Instagram)</p> <p>【否定的社内文化に関する調査と望ましい労働環境・組織文化の形成】MZ世代と既成世代が親近感を持って協働し成長していくためには、「相互理解」が重要です。その実現に向け、「水平的</p>	<p>2023年1月12日 (Facebook)</p> <p>本事業ではJENESYS事業参加経験を有する両国の大学生や社会人等が、今回は「教育」「労働」「老後・福祉」の3チームに分かれて意見交換や調査を行い、提言を發表しました。</p>

